

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

情報処理の全国大会で10位入賞！



深谷商業高校 コンピュータ部  
部長 相川 奏一朗さん

情報処理の全国大会に  
連続出場中！

情報化社会が進む中、ますます重要となってくる情報処理技術。深谷商業高校のコンピュータ部は、情報処理技術を競う『全国高等学校情報処理競技大会』に31回連続で埼玉県代表として団体の部に出場し、今年度は全48チーム中10位に入賞しました。

県の予選会は8人1チームで出場し、チーム内上位3人の成績の合計が団体の得点になるというもので今年度は深谷商業高校が優勝から3位までに入賞し、見事全国大会に出場しました。

全国大会出場について、部長の相川さんに何うと「歴代の先輩が連続で出場してきたことなので、プレッシャーは大きかったです。その分、出場できた時の安心感も大きかったです。」と

話してくれました。

コンピュータ部の活動では、通常の情報処理科の授業だけでは取得できない資格取得についても学習し、大学卒業レベルでも取得の難しい『基本情報技術者試験』やさらに難しい『応用情報技術者試験』を取得している部員もいるなど活発に活動しています。

今後の活動について、「全国大会の連続出場を途切れることなく続けていきたいです。部員の中には情報系の大学に進み、システム開発やIT関連の職業を目指している人もいますので、これまでの知識を生かしてこれからの社会と技術をつなげる人になりたいです。」と部員の皆さんは力強く話してくれました。



▲県大会優勝の賞状を持つ部員の皆さん。全国大会でも10位に入賞しました。

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

埼玉工業大学



◀ここは、「ものづくり研究センター」。学校の創立40周年を記念して建てられたんだって。講義で使ったり、会議とか打ち合わせでも使ったりするんだって！研究室や3Dプリンターのある部屋もあるよ。



ふっかちゃんの  
つぶやき

イベント盛りだくさんの秋♪31日のハロウィーンはふっかちゃんの仮装してお菓子をもらっちゃおうね～Y(oOwOo)Y♪



▲これは、自動運転自動車だよ。平成29年から道路を実際に走って、自動運転のいろいろな研究をしているんだって！今では、深谷市全体を走って実験しているからみんなもすれ違ったことがあるかもしれないね！



## L・フォルテ

男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや  
個人権政策課 ☎574 - 6643

L・フォルテは、深谷市男女共同参画推進センターの愛称です。このコーナーでは、男女共同参画に関する情報を皆さんに紹介します。

### 『自分の仕事に尊敬と愛情とを持たないところに、 好い作品の生まれる筈がない』北川千代（深谷出身）

児童文学作家である北川千代は、深谷で少女時代を過ごしたことから、その作品には深谷が題材になったものが多数あります。

千代は、「自分の仕事に尊敬と愛情とを持たないところに、好い作品の生まれる筈がありません。少女小説を書くべき人は、まずその仕事に対して、この二つを持つべきです。事実、その作品が、一番心の動揺し易い、一番多感な時代の人たちの心に吸収されて、やがては、その心の土台によって、次の社会が、建設されるのであることを自覚したら、自分の仕事が、どのように高く、どのように重いものであるかを、気がつく筈でありましょう。」\*と語っています。千代はこのようなことを自覚し、自分の仕事に尊敬と愛情を持って取り組んでいたのです。

また、千代は作家活動と並行し、女性の自立を求めた活動も行っていました。『男は仕事、女は家庭』といった性別による役割分担が当たり前だった時代にあって、千代の活動は、社会や女性に大きな波紋を及ぼしました。

読書の秋、千代の作品に触れながら職場や家庭における男女共同参画について、もう一度意識してみましょう。

※日本現代文学文章講座 - 技術編 - (北川千代 昭和9年厚生閣発行) より引用



▲北川千代の写真。千代は明治27年に深谷市上敷免で『日本煉瓦工場』の工場長 北川俊の子として生まれました。

## 心の広場

上柴中学校1年(現2年)  
末満 陽翔さん



こを僕は心から尊敬しています。

ある日、僕は弟と三人で遊んでいました。楽しくて、僕はいとこに「楽しいね。」

と言いました。でも、今僕が何を言ったか伝わっていないと思い落ちていた木で地面に書こうとしました。するとそれより先にいとこが地面に書いていました。僕は、それを見て驚きました。そのことを、いとこのお母さんに話すと、「口の動きを見ているんだよ。」

と教えてくれました。それを聞いてまた驚きました。口の動きを見るだけで、しゃべっている内容がわかるなんてすごいなと思いました。これも、いとこが努力したのだと思います。障害がある人は、一人ではできないこともあります。しかし、それは誰でも同じです。そのため、困っている人を見かけたら助け合うことが大切です。もし困っている人がいたら、いやな顔をせず笑顔で助けてあげてください。そうすれば、助けた方も助けられた方もいい気持ちになると思います。そして、自然と人権も大切にされていくでしょう。

### 障害者と人権

僕のいとこは、耳に障害を持っています。そのため会話は手話でおこなっています。少しだけ家が遠いため、最近では会えていません。いとこは耳に障害があるだけで、他はみんなと同じです。耳に障害があるだけなのに、それを差別しようとする人がいます。一つの違いだけで差別をする人がいるのがとても不思議です。

僕は、小さい頃、言葉でいとこに話しかけていました。でも全く反応してくれません。いとこのお母さんが手話で話しかけると、いとこは笑ってこっちを向いてくれます。僕もいとこと話したくて、今手話を勉強しています。

いとこは、運動神経がとても良いです。卓球をやっている、去年の全国大会では三位だったと言っていました。だからいとこは、普通の人よりも絶対に運動ができます。しかし、それは、人よりも努力したからだだと思います。そんないと